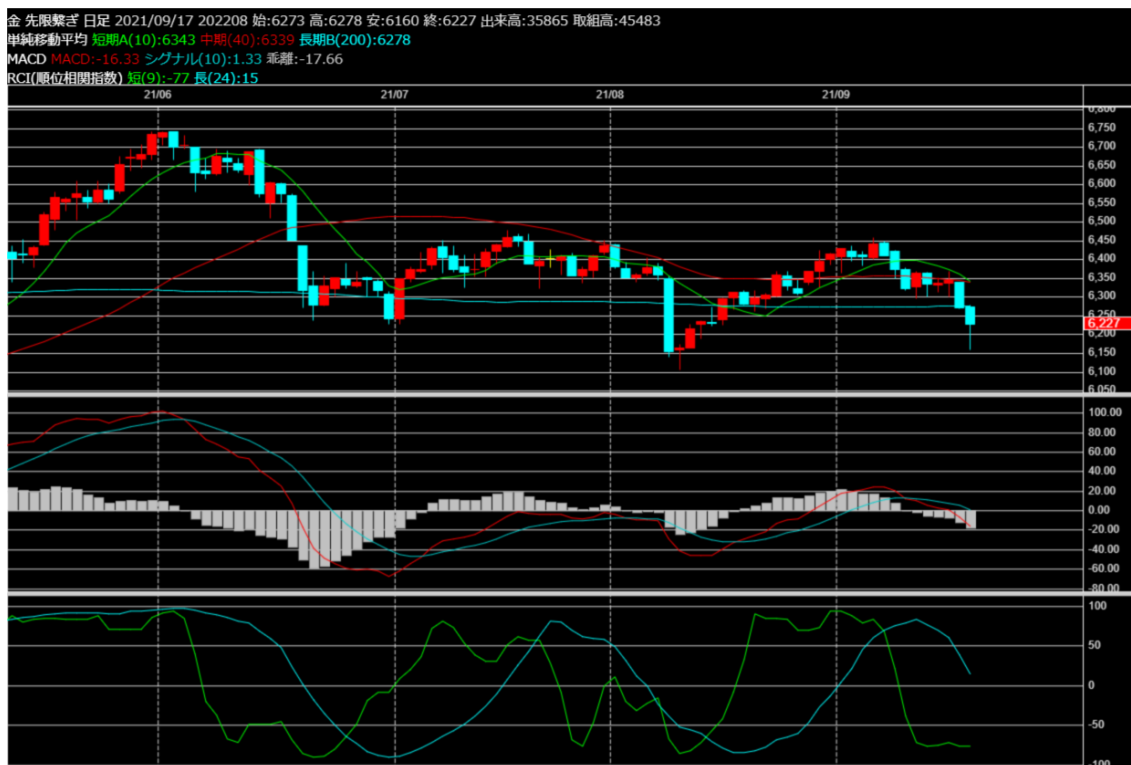


<金標準先物、今年のテーパリングに向けて 6100 円へ・・・>



(出所：オアシス)

NY 連銀景気指数が 32.3 と大幅改善し、小売売上高でも事前予想の 0.8%減を大きく上回る 0.7%増となるなど、22 日に FOMC を控える中で米国 10 年物国債金利は 1.363%と上昇を続けている。そのため先週の NY 金が 1805 ドルから 1749.4 ドルまで下落するなど、金利上昇に合わせて下落を見せるなど下値追いを強めている。

特に金標準先物でも一時 8 月 12 日以来の 6160 円まで下値を試すなどテーパリングに備える動きを行っており、大手ファンドのブラックロックは、実質金利の正常化に備え金のポジションをゼロにしていると述べるなど、金市場からの流動性資金の逃避は続く可能性が高い。

また 22 日の FOMC でテーパリングの開始の宣言の有無に関係なく、市場は年内の利上げ開始に向けた動きを強めて来ると予想され、金標準先物は 8 月に付けた安値 6105 円に向けて下値追いに注意が必要である。

(2021 年 9 月 20 日記載)

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD とシグナルが下向きで下げており、ヒストグラムの乖離幅も弱気（マイナスサイド）で拡大するなど、下げ止まりを示すサインは発生していない。

また RCI でも短期が -75%以下で維持する弱気の継続を示す中で、長期が下げており、短期と長期のクロスが発生までは下値追いに注意が必要である。